

六日町商工会景況調査報告書(H29.4～6)

組織番号 0 6 3

商工会名 六日町商工会

1. 調査要領

(1) 調査対象

ア 対象地区 六日町商工会地区内小規模事業者
イ 調査企業数 50 事業所 (うち小規模事業者数 50 事業所)
ウ 回答企業数 43 事業所 (うち小規模事業者数 43 事業所)
(回答率 86.0%)

(2) 調査対象期間

平成29年4月～平成29年6月
(調査時点 平成29年6月30日)

(3) 調査方法

経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

(4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	9	20.9%	9	20.9%
建設業	8	18.6%	8	18.6%
卸・小売業	10	23.3%	10	23.3%
サービス業	16	37.2%	16	37.2%
合計	43	100.0%	43	100.0%

2. 地域内産業全体の景況概要

地区内景況のコメントする

「好転」しているという事業所もあるが、全般的に「不変」「悪化」が多数を占めている。現状維持からの脱却が当地区の課題である。

【後継者の状況】

後継者状況をコメントする

3分の2が後継者なしである。当地区でも事業承継について課題となっている。

後継者 あり	15事業所	35.7%
後継者 なし	27事業所	64.3%

【売上高】

地区内事業者の売上に関するコメントする

前年同期比7ポイント減少、前期比12ポイント増加、今後の見通し7ポイント減少。売上高増加も季節的要因・一過性であると考えている事業所が多いものと考えられる。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
11	18	14	18	12	13	8	23	11

【採算】

地区内事業者の採算性についてコメントする

前年同期比16ポイント減少、前期比12ポイント増加、今後の見通しは12ポイント減少。採算についても季節的要因・一過性であると考えている事業所が多いものと考えられる。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
8	20	15	13	22	8	8	21	13

【仕入単価】

地区内事業者の仕入状況をコメントする

前年同期比34ポイント増加、前期比34ポイント増加、今後の見通しは29ポイント増加。原材料等の高騰が目立っている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
14	27	0	14	27	0	14	25	2

【販売（客）単価】

地区内事業者の客単価等をコメントする

前年同期比2ポイント増加、前期比5ポイント増加、今後の見通し13ポイント減少。売上高維持の為、既存客を大切に客単価が下がらないように努めることが課題である。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
5	32	4	7	28	5	2	31	7

【資金繰り】

地区内事業者の資金繰り状況についてコメントする。
前年同期比19ポイント低下、前期比16ポイント低下、今後の見通しは12ポイント低下。今後も経営悪化の事業所が増加することが予想される。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
3	29	11	2	32	9	5	28	10

【雇用動向】

地区内の雇用動向をコメントする
前年同期比5ポイント減少、前期比3ポイント減少、今後の見通し2ポイント減少。今後も現状のまま推移していくことが予想される。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
1	37	3	2	35	3	1	38	2

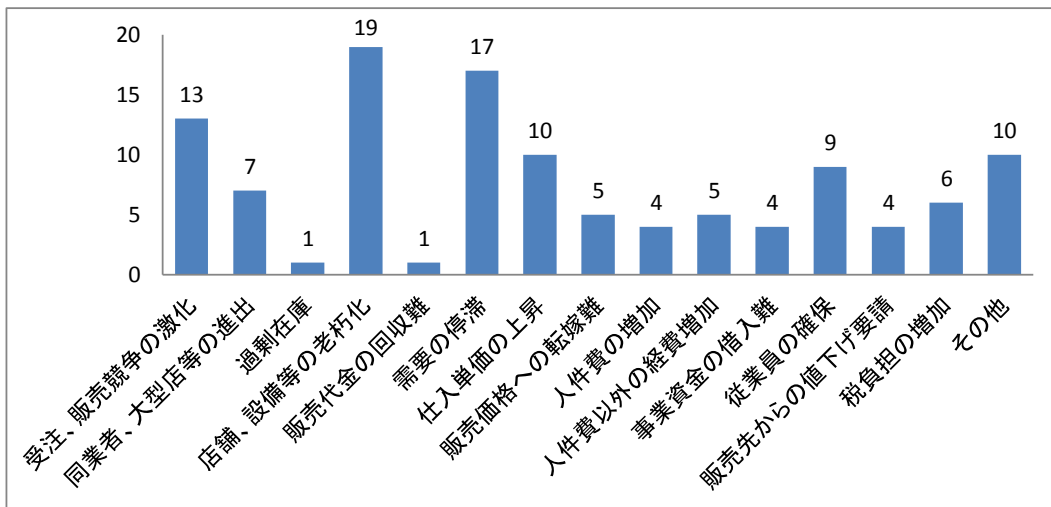
【景況判断】

地区内の景況判断についてコメントする
前年同期比24ポイント低下、前期比17ポイント低下、今後の見通し17ポイント低下。このことから、景況が悪いと感じている事業所が多いと感じている事業所が多いものと考えられる。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
5	22	15	6	22	13	5	25	12

【経営上の問題点】

地区内事業者の経営上の問題点についてコメントする
「店舗・設備の老朽化」「需要の停滞」が多数を占めている。景況感が良くないため、設備の更新等が出来ない事業所も多い。また、「受注・販売競争の激化」「仕入単価の上昇」等の要因を懸念している事業所が目立つ。



3. 産業別景況概要

(1) 製造業

- ・前年同期比
売上高・採算・景況が50ポイント低下、資金繰りが63ポイント低下。
- ・前期比
売上高が56ポイント低下、採算が50ポイント低下、資金繰りが50ポイント低下。景況が50ポイント低下。
- ・見通し
売上が75ポイント低下、採算が63ポイント低下、資金繰り・景況が50ポイント低下。総じて全般的に良くない。

(2) 建設業

- ・前年同期比
採算が13ポイント低下、仕入単価が57ポイント上昇、景況が38ポイント低下。
- ・前期比
売上が50ポイント上昇、仕入単価が57ポイント上昇、雇用が33ポイント増加。
- ・見通し
売上が38ポイント上昇、仕入単価が57ポイント上昇、景況が25ポイント低下。見通しとして、一部期待感はあるものの、全般的には見通しとしては良くない。

(3) 卸・小売業

- ・前年同期比
仕入単価が40ポイント上昇。
- ・前期比
売上が60ポイント上昇、採算が30ポイント上昇、販売単価が40ポイント上昇。
- ・見通し
売上・採算が30ポイント低下、販売単価が50ポイント低下。前期比の売上・採算が上昇しているが、全般的には良くない。

(4) サービス業

- ・前年同期比
仕入単価が40ポイント上昇。
- ・前期比
採算が31ポイント上昇、仕入単価が40ポイント上昇。
- ・見通し
売上が20ポイント上昇、仕入単価が47ポイント上昇。一部上昇のものも見られるが、全般的に見通しとしては良くない。